

価値創造の取り組み —— セクター別戦略

デジタルシステム&サービス

お客さまの業務システムや社会インフラの
デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し
サステナブル社会の実現に貢献



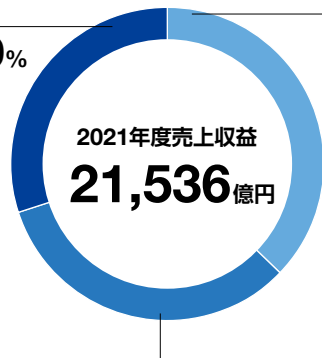
デジタルシステム&サービス 事業構成

サービス&プラットフォーム 30%

主要な製品とサービス

LumadaのコアとなるDX手法とデジタル技術

- エクスぺリエンスデザイン
- デジタルエンジニアリング
- アプリケーション
- データアナリティクス、人工知能
- クラウドサービス
- セキュリティ
- ITプロダクツ(ストレージ・サーバー)



フロントビジネス 37%

主要な製品とサービス

ミッションクリティカル領域のIT/デジタルシステム

- **金融ビジネスユニット:**
銀行・保険・証券向け基幹システム構築・運用、金融ソリューション
- **社会ビジネスユニット:**
官公庁・自治体・電力・交通分野など社会インフラ向けシステム、ディフェンスシステム、制御システムの構築・運用、デジタルソリューション

ITサービス 33%

主要な製品とサービス

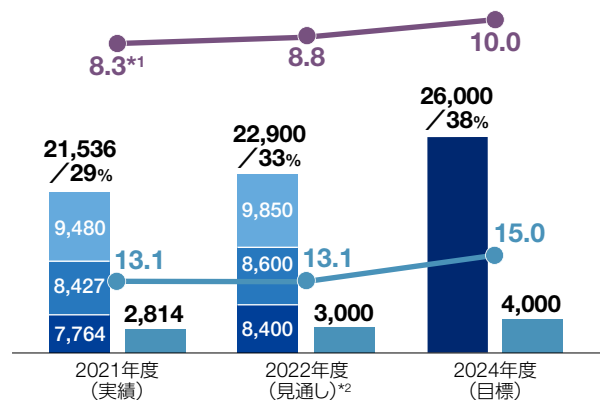
DXソリューション・サービス

- **日立システムズ**
システム運用・監視・保守およびITライフサイクル全域をカバーするワンストップサービス
- **日立ソリューションズ**
パッケージ、サービスを組み合わせた、生産性向上や新事業創出のためのソリューション

実績と見通し

売上収益(億円)/海外比率(%)

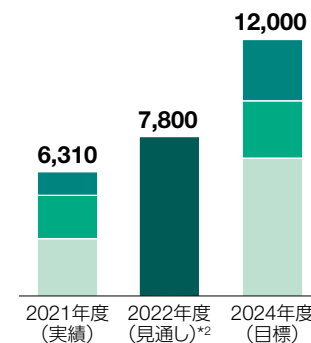
- フロントビジネス
- ITサービス
- サービス&プラットフォーム
- Adj. EBITA(億円)
- Adj. EBITA率(%)
- ROIC(%)



*1 GlobalLogic買収影響リステートベース *2 2022年7月29日公表値

Lumada売上収益(億円)

- デジタルエンジニアリング
- システムインテグレーション
- マネージドサービス



強み Strengths

デジタルシステム&サービスセクター(以下、DSSセクター)は、約10万人の従業員が50の国・地域で事業を担っています。社会インフラを高度なITで支える「フロントビジネス」、お客さま業務のDXをパッケージソリューション・サービスでサポートする「ITサービス」、DXに必要な手法・最新テクノロジーを提供する「サービス&プラットフォーム」の3セグメント体制です。

長年にわたり、金融や公共、電力、交通分野などミッションクリティカルな領域で培ってきた高信頼なシステム構築・運用力や、お客さまと協創しながらDXを実現するノウハウやソリューションを有し、それらを支える数多くのデジタル人材がいることがDSSセクターの強みです。

そして、2021年7月に、新たにGlobalLogicが仲間になったことで、デザイン思考、デジタルエンジニアリング力という強力なケイパビリティも加わりました。

これらの強みを生かし、お客さまや社会課題の理解から、アジャイルな解決方法の創出、システム実装やOT分野のプロダクトとの連携、クラウド環境でのセキュアなサービス運用・保守まで、すべての象限で価値を創出します。また、このサイクルを継続的に回し、次の価値創出へとつなげ、お客さまや社会のDXを実現していきます。

2024中期経営計画でめざす姿

過去2回(2018、2021)の中計期間を通じて事業構造改革やプロジェクト管理徹底によるロスコスト削減、生産性向上など、継続的に改革を実行してきた結果、安定的に収益が出せる事業体へとトランスフォームし、「成長」への基盤ができました。2024中計では、DX市場でのLumadaの飛躍的成長を実現し、グローバルトップクラスの事業体をめざします。売上収益拡大と収益性向上を両立し、お客さまの課題解決パートナーとして、継続的に価値を創造し、Lumadaのサステナブルな事業成長

KPI	2021年度	2024年度
GlobalLogic売上収益*3	1,280百万ドル	2,830百万ドル
Lumadaサービス事業比率*4	46%	50%超
Lumada海外売上収益比率*5	35%	50%
全社Lumada事業売上収益	1.4兆円	2.7兆円

右にある4つのKPIを重点指標に、取り組んでいきます。

*3 シナジー/M&A含む *4 DSSのLumada事業に占めるサービス事業の割合 *5 DSSのLumada売上収益に占める海外売上収益の割合

市場環境

複雑さを増す経営課題に対して、お客さまは、事業継続と競争優位のためにデジタルやサービスの活用をさらに強化する傾向にあるほか、深刻な社会課題を背景に環境問題やSDGs関連の投資も拡大しています。このように、経営課題、社会課題を解決する社会イノベーション事業のターゲットとなるグローバルDX市場は、すべての地域で2桁成長を続ける見通しであり、2025年までの年平均成長率は17%に達すると予測されています。

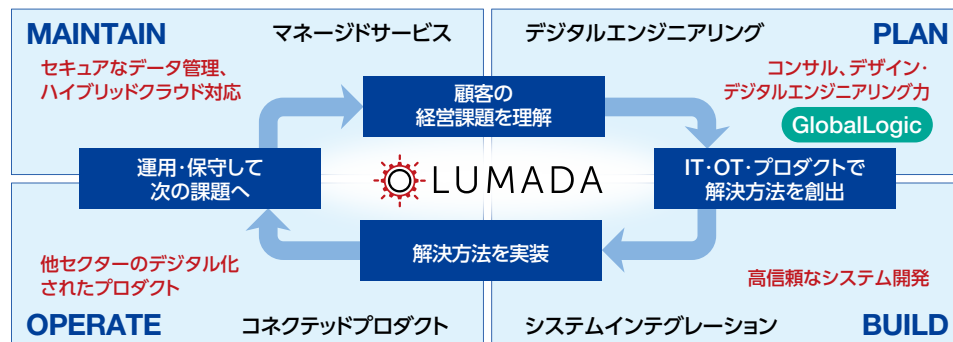
日本国内でも、2022年以降は、お客さまのビジネス成長に向けたIT投資が伸長するとともに、DXの取り組みも拡大し、クラウド・デジタルの活用と浸透がより一層加速する見通しです。

デジタルシステム&サービス 成長戦略

Lumadaの進化による成長

DSSセクターは、以下Lumadaの成長サイクルにおいて、「デジタルエンジニアリング」「システムインテグレーション」「マネージドサービス」を推進する中核事業体です。2021年7月にGlobalLogicがDSSセクターに加わったことで、デザイン、デジタルエンジニアリング力のケイパビリティを獲得し、グローバルDX市場において、お客さまや社会の課題を理解し、日立の強みであるOT×IT×プロダクトを組み合わせながら、より迅速に解決方法を導き出すことができるようになりました。また、GlobalLogicが開発したソリューションを日立ヴァンタラがクラウド上で実装し、グローバルのお客さまにサービスとして提供、またそれをリカーリングな事業にできることが強みになると考えています。Lumadaの成長サイクルに当てはめると、第1象限(デジタルエンジニアリング)をGlobalLogic、第4象限(マネージドサービス)を日立ヴァンタラが担い、この両社がうまく機能することで、継続的な価値提供が可能になります。

Lumadaの成長サイクル(4象限モデル)



2024中計では、総額5,000億円規模の事業拡大投資および2,000億円規模のLumada投資の実行により、それぞれの象限の強みをさらに高めながらサイクルを回し、より多くのお客さまとサイクルを作ることで成長を加速していきます。

また、Lumadaのグローバル展開を加速するために、2022年4月に日立デジタルを発足しました。日立デジタルがシリコンバレーで経営をリードし、日立ヴァンタラやGlobalLogicに加え、日立エネルギーや日立ルール、JRオートメーションなどのOT系のグループ各社と連携して、Lumada戦略の策定と実行を強力に進めていきます。

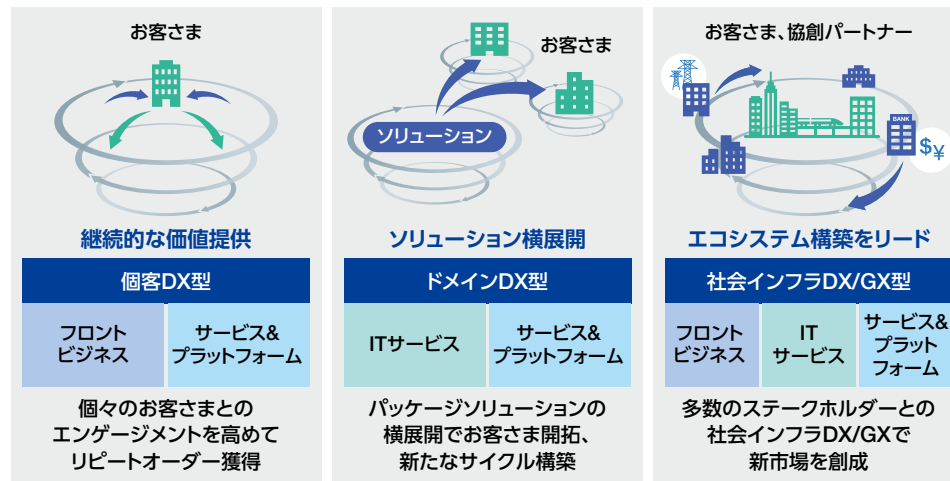
GlobalLogic

GlobalLogicは、デザイン主導のデジタルエンジニアリングを強みとする企業です。2021年度の実績で年率38%の売上成長を達成し、お客さまから高い信頼をいただいています。世界38か所のエンジニアリングセンターと9か所のデザインスタジオ、2万5,000人を超えるデザインとソフトウェアエンジニアリングのプロフェッショナルを擁することで、創立以来20年以上にわたり、デザイン、エンジニアリング、データサイエンスを活用して、世界中のお客さまのDXを支援してきました。ユーザーのエンゲージメントを高める直感的なデジタル体験を実現する「エクスペリエンスデザイン」、ソリューションの開発を通じて高いデジタル体験を具現化する「高度なエンジニアリング」、データからインサイトを導出し顧客価値へ変換する「コンテンツ/データエンジニアリング」を提供しています。これらをトータルにご提供することでユニークな価値創出を実現しています。また、日立ヴァンタラとのクロスセル、ソリューションシナジーも具現化し始めています。

日本市場に向けては、2022年4月にGlobalLogic Japanを設立し、日立が持つOT×IT×プロダクトの事業基盤とGlobalLogicのデザイン主導のデジタルエンジニアリングの強みを組み合わせ、お客さまのDX推進を加速します。

Lumadaのスケール

DSSセクターでは3つのアプローチでお客さまや市場のニーズに応えていきます。個々のお客さまとの協創による課題解決に加え、高付加価値なソリューションの横展開、エコシステムでの新市場創生など、各事業グループの強みを生かして、Lumadaをスケールさせていきます。



個客DX型

個々のお客さまとの協創を通じてエンゲージメントを高め、リピートオーダーを獲得するアプローチで、金融ビジネスユニットや社会ビジネスユニットなどの強みが生きる領域です。

代表例

・損保ジャパンのサステナブル経営支援

損保ジャパンの保険引受業務において、日立の擬似量子コンピュータ「CMOSアニーリング」を活用し、リスク分析・評価する契約数を10倍に拡大することで事業リスクを低減。それ以外にも、AIを活用した感染症予報や、HRテックによる企業のSX*支援など、社会課題の解決をめざしたサービス開発に向けて多面的に協創を拡大。

*SX Sustainability Transformation

ドメインDX型

お客さまとの協創を通じて開発した独自のサービスや、すでにマーケットで実績のあるソリューションを横展開し、新たなお客さまを開拓していくアプローチです。サービス、ソリューションの横展開で実績ある日立システムズや日立ソリューションズの強みが生きる領域です。

代表例

・実績あるソリューションの横展開による価値提供

日立システムズが提供する自治体ソリューション「ADWORLD」は700超の自治体が採用、日立ソリューションズが提供するデジタルマーケティングソリューション「PointInfinity」は国内外での総会員数は3億ユーザーを突破しています。

社会インフラDX/GX型

お客さまと日立だけでは解決できない複雑な課題を解決するため、多くのステークホルダーと新たなエコシステムを構築していくアプローチです。OT×IT×プロダクトという幅広い事業領域を持つ日立だからこそ可能な形態であり、DSSセクターの中核事業の一つとして積極的に取り組みます。

代表例

・企業のESG経営と資本市場の透明性

IoT、ブロックチェーン、AIなどデジタル技術を活用して、ESGデータの収集、活用を促進する「サステナブルファイナンスプラットフォーム」を立ち上げ、透明性の高いモニタリングや市場機会特定のためのデータ分析などにより、金融機関と事業会社をつなぐエコシステムを実現。

デジタル人財の強化・拡充

GlobalLogicが有する優れた採用と育成のスキームを継続的に進化させるとともに、日本国内にも展開し、育成プログラムをアップグレードしていきます。また、GlobalLogicと人財の相互交流を拡大することで、日本のITエンジニアの育成を加速します。DSSセクターとして2024年度までの3年間で国内外約3万人のデジタル人財を拡充します。

各ビジネスユニット・グループ会社の成長戦略

フロントビジネス

金融ビジネスユニット(BU)

金融BUでは、金融、保険、証券業界向けに高い堅ろう性と安全性を備えたミッションクリティカルな基幹系システムを構築・運用しているほか、お客さまの経営課題解決に貢献する新たな金融ソリューションを開発・提供しています。2024中計では、継続的に市場成長する国内・海外の「金融DX」で売上収益や営業利益の拡大をめざすとともに、新たな成長エンジンと見込む「GX」への取り組みを強化していきます。

金融BUでは、これまで金融業界の大手顧客との協創を通じたソリューション開発とサービス提供によりLumada事業を拡大してきました。今後はこれまで培ってきた金融機関との強固な関係を生かし、また日立グループのOT分野のケイパビリティとの融合により、異業種のステークホルダーを巻き込んだエコシステム構築を進め、さまざまなデータ活用を通じて新サービス事業の創出・拡大を図ることで、Lumada事業のさらなる成長を実現していきます。

具体的には、「金融DX」では、金融機関などのシステムに日立が持つDXやクラウド技術を活用したデジタル化サービスや、金融機関のDX化へ貢献するマイクロサービス、異業種データと日立のデジタルマーケティング・決済機能を組み合わせた観光型MaaS実現に向けた取り組みなどを進めています。こうした新たな金融サービスの創出により国内外で得た知見や成果を、GlobalLogicや日立ヴァンタラと連携しグローバル展開していきます。一方、「GX」では、上場企業のESG情報収集を支援するソリューションを開発中で、2022年度下期より本格的な立ち上げを計画しています。そのほか、地域金融機関や地場企業、自治体などと連携し、サステナブル社会の実現に向けた地域創生関連サービスの展開にも取り組んでいきます。

事例

日本取引所グループ(JPX)が発行する、国内初のグリーン・デジタル・トラック・ボンドについて、日立は協業メンバーとして、サステナブル・ファイナンス・プラットフォームを活用し、投資先発電設備の稼働データの円滑な収集・記録を実現。発行体や投資家へ高い利便性を提供することで、ESGへの企業の取り組みを後押しし、社会全体のカーボン・ニュートラル実現に寄与します。



社会ビジネスユニット(BU)

社会BUは、官公庁、自治体、電力、交通、通信、防衛分野など向けに、ミッションクリティカルな社会インフラのシステム開発やITサービスの提供を幅広く担い、さまざまな社会課題の解決に向けて、お客さまやステークホルダーと協創し、データとデジタル技術で社会インフラを革新する事業体をめざしています。これまで、システムインテグレーションによる価値提供を基軸に、お客さまの経営課題に寄り添いデジタルにより新たな価値を提供していく「個客DX」、それらを通じて培ったノウハウを同業、他業種へ横展開していく「ドメインDX」を推進してきました。さらに今後は、多様なステークホルダーと協働して社会全体でのサービスの高度化、社会課題の解決を図る「社会インフラDX/GX」に発展させることが社会BUの次なる戦略です。2024中計においては、さらなる成長に向け、「社会インフラDX/GX」を成長事業の柱と捉え、日立グループ全体として強みを発揮できる市場で、「社会価値」×「市場成長」×「協創による価値創出」の観点から、新たなサービスモデルを作り上げていきます。OTやドメインナレッジとITのシナジーにより、お客さまの課題解決の実装を行い、さらに価値をアセット化してサービス提供するリカーリング型のビジネスモデルで安定した売上と高収益化を図ります。

「社会インフラDX/GX」の実現に向けては、Society 5.0の社会実装のための国や自治体の取り組みに参画するとともに、グローバルでも幅広く協業し、事業を拡大していきます。具体的には、独自のデジタル技術を活用し、新しい政府施策を踏まえたデジタルガバメントへの対応のほか、地域や公共空間の安全安心、社会インフラの強靭化を支援します。また、電力需給管理・制御などのエネルギーマネジメントと環境関連ソリューションの実績・ノウハウを掛け合わせ脱炭素社会への貢献、マテリアルズ・インフォマティクスによるさまざまな産業分野での価値創出支援など、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを進めていきます。

事例

急速に進展する社会インフラ設備の老朽化やベテラン保守員の減少を、ドローンによる遠隔点検、画像診断などによる保守高度化で支援します。インフラ事業者のほか企業・大学などオープンイノベーションで優れた技術を取り込み、設備点検のAIプラットフォームを強化し、地域全体でのインフラ管理の効率化、コスト最適化を実現します。



ITサービス

日立システムズ

幅広い規模・業種にわたる業務システムの構築と、データセンター、ネットワークやセキュリティの運用・監視センター、コンタクトセンター、全国約300か所のサービス拠点などの多彩なサービスインフラを生かしたシステム運用・監視・保守を強みとし、ITライフサイクル全域をカバーするワンストップサービスを提供しています。

現場起点でのデジタル化を支援するデジタルライゼーションサービスやセキュリティをはじめ、運用・保守・監視を支援するマネージドサービスに注力し、Lumadaの事業拡大を図ります。また、DSSセクターが推進するリカーリングビジネスを拡大すべく「価値を継続的に提供する領域」に注力します。具体的には、各事業で蓄積したナレッジをもとに新たな成長モデルを構築し、それをクラウド・マネージドサービス、ソフトウェアアセットとして組み込むことで事業を拡大します。

クラウドでは、自治体システム標準化への対応を契機として、先行導入が進められている国民健康保険システム標準化のノウハウを生かして、日立自治体ソリューション「ADWORLD」の展開を強化し、地域ベンダーとの協業による横展開を推進します。また、ガバメントクラウドに対応したマネージドサービス事業を組み合わせることで自治体市場におけるシェア拡大を図ります。

マネージドサービスでは、Lumadaソリューションを安定稼働・効率利用する仕掛けとして、セキュリティ監視やIT運用、コンタクトサービス&BPOサービスなど利用価値の高い標準サービスを充実させていきます。さらに、業種別ソリューションと組み合わせることにより、中堅・中小を含めた幅広いお客さまにサービスを提供します。クラウド普及に伴い対策が不可欠となるセキュリティ監視は、専門技術を有する国内外のグループ会社との連携を強化し、グループ共通で積極的に取り組みを進めていきます。

事例

「ADWORLD」は、全国700超の自治体に採用いただき、住民サービスの向上や行政事務の効率化など自治体DXに貢献しています。渋谷区では、職員のワークスタイル改革に向けたICT基盤の全面刷新により、40%に及ぶペーパーレス化を実現。今後は総務省のDX推進計画に準拠したシステム標準化やガバメントクラウド対応などへ取り組みを広げていきます。



日立ソリューションズ

日立ソリューションズは、社会と日立グループの一員として、製造や流通、通信業を中心としたお客さまや社会の課題解決を支援するデジタルソリューションを提供するとともに、既存商材のサービス化や高付加価値化を図り、SXを追求しています。

日立ソリューションズでは社内DXの強化により、データドリブン経営を進め、経営データの可視化や生産性向上に努めてきました。そのノウハウを生かし、国内では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)禍においても「スマートマニュファクチャリング」「デジタルマーケティング」「ワークスタイル変革」「スマートモビリティ」「ビジネスコーポレーション」「セキュリティ」「空間情報」「データアクセラレーション」という重点分野で、生産性向上や新事業創出を支援するソリューションを提供し、順調に売上を伸ばしました。

一方、海外では、DXの潮流と高成長が見込める欧米や東南アジアの市場において、マイクロソフト社のDynamics事業が好調に推移しました。日立ソリューションズアメリカ社は、グローバルでの「Microsoft Partner of the Year Awards」を4年連続で受賞しており、2022年は、「Dynamics 365 Supply Chain Management and Intelligent Order Management (IOM)」のカテゴリーにてWinnerを受賞しています。

2024中計においては、デジタル協創空間「日立ソリューションズ DXラボ」を活用し、お客さまやパートナーとの協創を加速させ、持続可能な経営や社会の実現に貢献するソリューションやサービスを提供していきます。社内では、データドリブン経営を洗練化するとともに、社員のグローバルに挑戦する機会創出や、SXをテーマにしたアイデアソン、シニア社員の活躍推進など、個の強みを生かした人材育成を促進します。そして、IoTやスマート決済といった市場トレンドに対応した商材を迅速に提供するほか、AI、ブロックチェーン等の先進技術を得意とするパートナーとグローバルに連携していきます。

事例

デジタルマーケティングソリューション「PointInfinity」は、ファミリーマートなどのコンビニエンスストアをはじめ、ポイント管理システムを構築される幅広いお客さまに採用され、国内外で総会員数は3億ユーザーを突破しています。会員プログラムやポイントプログラムの構築から、AIによる収集情報を活用したレコメンド、効果測定などマーケティングをトータルに支援します。



サービス&プラットフォーム

サービス&プラットフォームビジネスユニット(BU)

サービス&プラットフォームBUは、協創とデータを核に、Lumadaを強化して継続的な価値創出を実現する共通基盤およびサービスを提供することをミッションとしています。超ビッグデータ時代における社会のデジタルインフラを支えるITプラットフォームやサービスを通じて国内外のお客さまの課題解決に貢献してきました。

海外市場においては、日立ヴァンタラがデータマネジメントソリューションを提供しLumadaのグローバル展開をけん引しています。GlobalLogicでは、デザイン主導のデジタルエンジニアリングを強みにDXサービスを提供しています。また、国内市場では、最新のデジタルテクノロジーやミッションクリティカルなシステム構築での知見を活用したITプラットフォームを提供しています。

近年、お客さまのDXが進展するなかで、事業拡大や業務効率の改善に向けた基幹システムの刷新の一環として、クラウドサービスを活用する取り組みが活発化しています。これに伴い、DX戦略に基づき、迅速な利用開始や柔軟な拡張が可能なパブリッククラウドと、企業システムや経営情報など重要なデータを安心・安全に利用できるプライベートクラウドの双方のメリットを組み合わせたハイブリッドクラウドの必要性が高まっています。このような複数のクラウドやサービスが併用される環境においても運用の煩雑さを回避し、俊敏性と信頼性を両立すべく、デジタルエンジニアリングとハイブリッドクラウドのマネージドサービス提供に注力します。具体的には、ストレージの仮想化や運用自動化、データガバナンスなどの技術を連携し、データマネジメント基盤を強化するとともに、お客さまの経営課題の理解から最適なクラウド移行の戦略策定、移行・構築、運用までをカバーし、ワンストップで提供していきます。

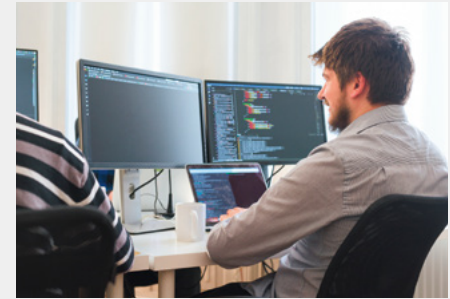
これらにより、お客さまのDX実現の要になるデジタルインフラを支え、データのサイロ化の解決や運用の複雑性の解消、顧客重要データの保護とトレーサビリティなどの価値創出を通じ、イノベーション創出を強力に後押ししていきます。

事例①日立ヴァンタラ × GlobalLogic

データドリブンでのBMWグループのイノベーション実現

日立ヴァンタラが、クラウドストレージ、データ管理の戦略的パートナーの1社に選定されました。EverFlex Storage-as-a-Serviceソリューションを提供し、世界各国に展開するBMWグループのITインフラを管理、ミッションクリティカルな製造やオペレーションに必要な高信頼性を実現します。

GlobalLogicは、コネクテッドカー向けミドルウェアのソフトウェア開発、エンハンス、保守までのデザイン、デジタルエンジニアリングを提供します。このように、Lumadaの第1象限(デザイン・デジタルエンジニアリング)から第4象限(ハイブリッドクラウド対応)まで対応し、データドリブンでのBMWグループのイノベーションを支援しています。



事例②日立エナジー × 日立ヴァンタラ

設備の点検・監視の最適化を支援する「Lumada Inspection Insights」を開発

Lumada Inspection Insightsは日立エナジーと日立ヴァンタラが共同で開発したもので、衛星画像や、リモートセンシング技術の一つであるLiDAR、温度分布などの写真や動画を人工知能(AI)で解析することで、お客さまの設備点検の自動化と、安全性の向上、天候に関連するリスクや山火事による環境影響の低減、サステナビリティ目標の達成に貢献します。本ソリューションは、AIと機械学習を活用し、設備の状態やリスクを分析することで、障害や設備停止のさまざまな原因を特定します。また、予測分析により、運用や環境に関するリスクを評価することで、障害発生前の修繕を効率化することが可能になります。

